



日本医療機能評価機構より 病院機能評価： 一般病院Aを取得いたしました。



研究発表会

11月20日(土)に各部署より13演題の研究発表会が行われました。今後の業務改善を目的に、日常業務から様々な研究を行いました。これらの研究は各部署との連携を保ち、さらに患者さん方によりよい医療を提供できるよう役立てていきたいと思えます。

今回は、初めての研究発表会でわからないことも多くありましたが、これからも研究を続け発表会を行っていきたくて思っています。



みんなの健康展 '04参加

9月12日(日)大牟田みんなの健康展が開催されました。看護協会筑後2地区より大牟田市の病院4施設が参加しました。当院からは「あなたは血圧が気になりますか？」というテーマで健康展に訪れる市民に「生活習慣病」予防を呼びかけました。



ごあいさつ

杉循環器科内科病院
院長 杉 健三

本年9月、財団法人日本医療機能評価機構より杉循環器科内科病院に認定証が発行されました。このことは、杉病院が医療機関として一定水準の機能を備えていることが公的に認められたと言うことのみならず、私たち職員一同の努力や能力が高く評価されたものとして大いに自信を持ってよいことだと考えます。しかしながら、医療機能評価機構の認定を受けたとは言っても、私たちの病院にはまだまだ改善あるいは整備して行くべき多くの問題点があります。これを契機として、さらによりよい病院を作り上げて行く努力を今後とも続けて行かなくてはなりません。

さて、広告などで対外的に情報提供を行う場合に、医療機能評価機構の認定を得ていることを表示することは認められていますが、本来もっと明確に情報提供を行い地域の人々に知っていただくべき事柄の中には、広告などに表示することが法的に許されていないために伝える手段が限られてしまっているものがたくさんあります。例えば、私どもの病院では既に地域で一定の評価を得ている循環器内科の診療とともに、腎臓内科の診療が大きな柱となっています。腎臓に関する医療のレベルは、スタッフや設備の質、規模ともに有明地区随一のレベルにあると言っても間違いありません。しかし、医療法の規定などのために、当院で腎臓内科の優れた診療が行われていること、また本地区で最大規模の血液透析を行っていることを一般の方々に伝える手段はインターネット上や院内の掲示などに限られてしまっているのです。

さらには、循環器内科についても、どのような病気を対象としているのか知らない人も少なくありませんが、広告などでその説明をすることも規制されているのです。この病院の存在を知っていても、どのような医療が行われているのかを知らない人が大勢いるのです。これは、私たちの能力を正しく評価されていないということ以上に、地域の人々の利益も大きく損ねていると言えます。

最近になって、やや緩められたとはいえまだまだ病院の機能や能力を周知させる手段に多くの規制があります。現状では、やはり杉病院の残された課題を一つ一つ改善しつつ、今後とも地道に「医学的に正しい医療。心暖まる医療。」を実践することによって地域の人々の信頼を得て行くことが大事なのではないかと考えています。

委員会紹介

杉病院には、病院をよりよい運営を行うために様々な委員会があり活動を行っています。今回は、感染委員会と安全管理委員会を紹介いたします。

感染対策委員会の取り組み

杉循環器科内科病院 副院長
呼吸器科 堀内 雅彦



院内感染という言葉が新聞やテレビのニュースなどで取り上げられていますが、皆様方はご存知でしょうか。

＜院内感染とは＞

院内感染とは、入院中の患者さんが入院の原因となった病気とは別に、新たに罹患した感染症や医療従事者が病院内において感染した感染症を言います。

院内感染は、人から人または医療器具などを媒介して感染し、特に、免疫力の低下した患者さんや新生児、老人などは通常の病原性微生物だけでなく、元々は感染力の弱い細菌による院内感染（日和見感染）を起こす場合もあります。さらに、日和見感染の中には、耐性菌といわれる、抗生剤が効きにくいMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）などによる院内感染が問題となっています。

＜感染対策委員会の役割＞

このような院内感染に対して、院内感染の予防と感染症発生時の適切かつ迅速な対応を行う「感染対策委員会」を組織し、必要に応じてICT（感染コントロールチーム）を設け、院内感染の予防に努めています。

＜感染対策委員会の活動＞

- (1) 患者さんに対する日々の予防と院内感染発生時の原因精査と拡大防止策の検討、院内感染対策マニュアルの作成・更新。
- (2) 院内外の各種臨床検体から分離された分離菌種・耐性菌に関する情報の収集と分析。
- (3) 院内感染発生時の情報収集や緊急対策などの「危機管理」を確実に実践できる体制作り。
- (4) 院内感染の予防に必要な衛生管理と職員教育。
- (5) 患者さんやご家族、面会の方に対する衛生知識の啓蒙。

以上のような活動を通じて、当委員会では、患者さんが安心してご自身の療養に専念していただけるよう、院内環境整備の向上に努めています。今後も、さらなる向上を目指して、継続した活動を行って行きます。

安全管理委員会

杉循環器科内科病院 副院長
循環器内科 高本 哲郎



近年、医療事故に関する報道が増加し、事実医療訴訟も増加傾向にあります。実際に現場での医療事故件数が増加しているか否かは不明ですが、世間の関心が深まった結果であるとも考えられます。

医療とは人が施す行為であり、人の注意力および情報処理能力に限界がある以上、エラーを皆無にすることは不可能です。しかしながら、病院職員には事故発生および重大化を防ぐ責務があります。事故には必ず原因があり、その原因というものは事故要因と呼ぶべき大小のいくつもの事象が連鎖して存在し、その結果として事故が発生すると考えられます。

以上のような観点から当院では、安全管理対策委員会を定期的開催し、事故に対する調査分析を行い、事故要因を明らかにするとともにそれらに対する対策を検討し、安全かつ適切な医療を提供できるよう努力しております。

検査の紹介

血圧脈波検査装置

この装置では、あなたの血管状態を測定することができます。
血管の硬さや下肢血管に狭窄や閉塞がないかを調べて動脈硬化度を測定します。

《わかる項目》

- ☆四肢血圧：両腕両足の血圧を同時に測定します。
- ☆ABI(足関節上腕血圧比)：下肢動脈の狭窄や閉塞の程度を表す指標です。
0.9以下の場合には狭窄または閉塞の疑いがあります。
- ☆PWV(脈波伝播速度)：動脈壁の硬さの程度を表します。動脈壁が硬い程PWVが速くなります。
13.5以上の場合、動脈硬化の疑いがあります。

《検査方法》

わずかな検査時間です。約5～10分間で終了します。実際の測定に要する時間は5分以内です。血圧を測るのと同じ感覚です。両手両足の血圧を同時に測定し、心電図や心音図や脈波も同時に測定します。



動脈硬化とは

血管内にコレステロール、カルシウムが沈着し、肥厚し、硬くなることを言います。

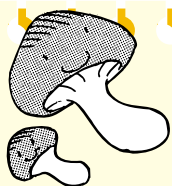
動脈硬化危険因子

(危険因子を多く持つほど、動脈硬化になりやすくなります。)

高血圧・高脂血症・糖尿病・喫煙・肥満・ストレス
など

動脈硬化は自覚症状がありません。

しかも、放置すると狭心症・心筋梗塞脳梗塞など、命に関わる疾患の原因となります。



健康メモ しいたけ



生活習慣病に効果を発揮する3つの成分があります。

- ①エリタデニンはコレステロールを抑制する効果が高く、血液をさらさらにし、高血圧や動脈硬化の予防に効果があります。
- ②エルゴステリンはカルシウムの吸収を助ける働きがあり、骨粗しょう症の予防になります。
- ③レンチナンは抗腫瘍作用をもち免疫力を高める働きがあります。癌の発症や進行を抑制する効果が医学の基礎研究で明らかになっています。その他、抗ウイルス性があり、風邪を引いた時など、しいたけスープにとろみをつけていただくと体が温まり、症状の改善に効果があります。また、しいたけはカロリーがほとんどありません。さらには価格も手頃で求めやすくなっています。

これからは鍋物がおおいいただける季節になります。生しいたけ、干しいたけをたくさん賞味されてはいかがでしょうか。また、毎日の食事の中にバージョン豊かに取り入れてみてほしいと思います。



New Face



よろしくお願ひします!!



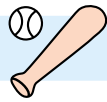
氏名 溝口 ミノリ
(みぞぐちみのり)

年齢 32才

出身地 田川市

部署 循環器内科

趣味 映画・DVD鑑賞・料理



ソフトボール部

SOFTBALL

どうもこんにちは、杉病院ソフトボール部主将池田です。男性職員の増加に伴い今年から正式に活動を始めました。現在大牟田のC級に登録して主に試合を行っています。今年の成績は公式戦4勝5敗で、初めての年にはまずまずのスタートだったと思います。部員も徐々に増えてきて今現在20人弱います。公式戦に出場することで、他の大牟田の職種の方や地域の方と触れ合うことができ、また病院のことを知ってもらいいい機会になったと思います。

試合会場は主に大牟田の緑地公園か諏訪公園で行っているのですがぜひ応援に来てみてください。普段より真剣な顔や部員たちの意外な一面が見られるかもしれませんよ。今年もうシーズンオフですが、11月7日に紅白試合(院内)を行いました。今年最後の試合でみんな気合が入っていますので、お暇な方応援よろしくお願いします。

来年はソフトボール部を立ち上げてくださった院長先生はじめ皆様の応援に応えられるようさらに上を目指して頑張りますので、これからも杉病院ソフトボール部をどうぞよろしくお願いします。



平成16年院内成績による受賞者

- 首位打者:宮本
- 打点王:高本、関坂
- 盗塁王:浦崎
- 単打王:高本
- 二塁打王:高本、宮本、櫻木
- 三塁打王:宮本、吉川
- 得点王:池田
- 出塁率No1:堀内
- 死四球数No1:池田
- ゴールドグラブ賞:関坂、中島
- 三振王:櫻木

- 『ハッスルハッスル!』賞:高本
- 『笑いの神』賞:石河
- 『夜も空振り』賞:村田
- 『グラブ買うんで』賞:吉川
- 『グラブのせいじゃないで』賞:永野
- 『参加』賞:熊谷



ビーチバレーボール大会参加

BEACH VOLLEYBALL

9月26日(日)に大牟田医師会看護専門学校同窓会主催第2回ビーチバレーボール大会が行われ、当院からも4チーム(22名)参加しました。7月より3ヶ月間、週1回の練習を行ってきました。ほとんどのメンバーが初心者でしたが練習ではみんな楽しく、思わぬ珍プレー・好プレー炸裂でわきアイアイでした!!!初めのころは、まだルールもわからない状態でしたが、みんな日に日に上達していきました。

試合本番、試合中の顔は真剣そのものでした。結果は3チームが予選敗退、1チームは決勝トーナメントに出場しましたが、一回戦で惜しくも敗退…。みんな、試合に負けた後は悔しさでいっぱいでしたが『来年こそは……!』とさらに気合が入りました。今回の大会は、病院長をはじめ職員のみなさまに応援・ご協力いただき、とてもいい思い出の残る大会になりました。

この経験はチーム医療につながっていくと思っています。来年もまた、参加したいと思っています。優勝めざして!

試合結果

- Aチーム(吉川・吉富・国崎・川口・関坂):4勝6敗
- Bチーム(石井・園田・塩塚・浦崎・堤):3勝7敗
- Cチーム(永野・二宮・田中・宮崎・近藤・阿部):1勝10敗
- Dチーム(園田・宮本・池田・牟田・櫻木・大塚):8勝3敗



病院からの手作り弁当はNo.1でした。これを食べてハッスル!ハッスル!!



頭の体操のコーナー

さあ、頭の体操の時間です♪

いくつわかるかな?

(答は右にあります)

1. 私の親は(ち)です。なぜ?
2. 持ってはいけない入れ物は?
3. 野球選手が涙を流しています。なぜ?
4. 九時には閉店する店は?
5. 口は口でも水を吐き出してる口は?



なぞなぞの答...

- 1. 親父(おやじ)だから
- 2. 桶(おけ)
- 3. ナイター(泣いた)
- 4. 宝くじ屋(九時→クジ)
- 5. 蛇口

杉循環器科内科病院

〒837-0916 大牟田市大字田隈950-1(誠修高校前)
TEL(0944) 56-1119 FAX(0944) 56-2077
E-mail: info@sugi-hosp.jp URL: http://www.sugi-hosp.jp